

講義名	特別講義（経営管理）			授業形態	
担当教員	李 東浩	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学院生全員が知っておくべき経営管理の体系
 経営管理分野の理論と現実を幅広く深く理解し把握する
 大学院研究科の基幹授業として位置づけられる
 国内・国際的なハイレベル・定評のあるテキストブックを参考書として使う
 第一線の研究者による理論書書の講読をも並行させる
 受講生の高度な専門知識の蓄積と研究能力の養成することに寄与する。
 神戸大学大学院経営学研究科では、前期第1群（基礎科目）の授業の中に、一番前の順位に登場するのはやはりこの「経営管理特論」であり、その重要性が表明されている。
 慶応義塾大学経営管理研究科では、「経営科学特論」「経営政策特論」「生産管理特論」「生産経営特論」など経営管理に関する科目が数多く設置されている。
 一橋大学大学院経営管理研究科では、「特別講義（企業経営分析）」が設置されている。

到達目標

(1) 知識・能力を身につける。
 本大学院特別講義は、大学院レベルで体系的・包括的にこの学問分野を学ぶ。経済学、社会学、心理学の分野の源流から経営学を総合的に捉え、この分野の奥深さと幅広くを紹介する。古典的な文献と代表的な文献のみならず、最新の文献をも取り入れ、経営管理分野に関する知っておくべき知識や理論パラダイムを習得し、履修生の高度な研究能力の形成に寄与できるようにする。
 (2) 読書力・文章力を向上させる。
 履修者は経営管理の特設課題を毎回事前に課題を熟読したうえ、概要のまとめ、レビュー・問題点と解決案といった3つの内容が入ったレポートに基づき、ローテーションで発表する。教員側は詳細な解説と評価を加え、全員の考え、判断、質疑・討論、発言、考え直し、まとめ、といった一連の仕組みで、履修者は毎回知識と能力が身につけることを実感でき、読書力と文章力の向上に寄与し、論理的な学術研究論文や実証的な企画調査報告等を作成できるようになる。
 (3) 主体的な学習態度を養成する。
 履修生は、能動的で主体的に知識を吸収・理解・習得・運用する能力を養成できるようにする。高度な研究能力と実践的な課題解決能力を有しており、組織経営参画する際に理論分析と実践運用の複眼的な視角から課題発見と課題解決を行えるようになる。

提出課題

1. 毎回、輪番報告者は2頁の読書ノートを提出し報告する（担当順番は1回目以降に決める。報告時間は15分以内）。
2. 毎回、履修者が当該分の資料を読んでいて、討論参加に備える。
3. 読書ノートの内容・分量を、概要まとめ（1頁）、感想コメント（0.5頁）、課題と解決案（0.5頁）。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回、導入、解題、解説と振り返りを行う。

評価の基準

期末試験と期末レポートはない。
 1. 毎回出席し、輪番発表報告（15分以内）や討論参加は必須である。
 2. 毎回、事前課題を熟読したうえ授業参加する心構えが必要。
 3. 報告者は報告を、参加者は質問討論を、また全員は積極的に授業へ討論・貢献をすること。
 毎回、受講者は事前課題を熟読し全員参加型授業を進める。

履修にあたっての注意・助言他

1. 大量の読書・ノートの時間は必要。最低目安：輪番報告者は週6時間、参加者は週4時間。
2. 古典を運用する。学んだ古典文献を現実社会に積極的に運用・分析してみる。
3. 能動的な集団学習。相互の啓発、知的な刺激が大事である。
4. 教員と履修者は毎回、配布必須資料のほかに、適宜、関連する文献や情報・課題をも教室までに持ち込み、全員発言討論型・参加型参画型の授業を行っていく。

教科書

『世界標準の経営理論』（820頁）	入山章栄	ダイヤモンド社	3,190		
-------------------	------	---------	-------	--	--

参考図書

その他

1. ロビンズら（2004～2013～2014）『マネジメント入門 グローバル経営のための理論と実践』（高木晴夫監訳）ダイヤモンド社（582頁）。
2. ロビンズ（2007）『組織行動のマネジメント』（高木晴夫訳）ダイヤモンド社（507頁。2017年第13刷発行！）。
3. 入山章栄（2012）『世界の経営学者はいま何を考えているのか』ダイヤモンド社（349頁）。
4. 入山章栄（2015）『ビジネススクールでは学べない世界最先端の経営学』ダイヤモンド社（366頁）。
5. Smith, Ken and Michael Hitt（2005～2010）『Great Minds in Management』（『管理学中の偉大思想』北京大学出版社 中国語版 469頁）。

授業計画

1. 経営理論導入・SCP分析・競争要因分析5F（0・2産 65頁）。
2. RBV・ポーターとバーニーの競争・情報の経済学（3・5産 49頁）。
3. エージェント理論・取引費用理論・ゲーム理論（6・8産 54頁）。
4. ゲーム理論・リアルオプション・企業行動理論（9・11産 57頁）。
5. 両利き経営戦略・組織の記憶（12・14産 47頁）。
6. 知識創造理論・進化理論・DC（15・17産 47頁）。
7. リーダーシップ理論・モチベーション理論・認知バイアス理論（18・20産 62頁）。
8. 意思決定理論・感情理論・センスメイキング理論（21・23産 58頁）。
9. 学び込み理論・弱いつながり理論・構造穴理論（24・26産 47頁）。
10. 社会資本理論・社会学ベースの制度理論・資源依存理論（27・29産 56頁）。
11. エコロジー理論・エコロジックベースの進化理論・レッドクイーン理論（30・32産 52頁）。
12. 戦略イノベーション・組織行動・ガバナンス理論（33・35産 62頁）。
13. 国際経営理論・起業家理論・企業組織と成長（36・38産 55頁）。
14. ビジネスと経営・経営理論の組み立て方（39・40産 43頁）。
15. 世界標準の実証分析・更なる視座（41・終産 40頁）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 読書と思考・討論を習慣に付けてください。
 大量の読書・ノートの時間は必要。最低目安：輪番報告者は週6時間、参加者は週4時間。
1. 毎回事前に、指定されたプリント資料の一部または全部を勉強・熟読。
 2. 毎回の予習時間は、授業時間（90分＝2時間相当）の4～6時間くらいにしてください。毎回の復習時間も、1～2時間くらいにしてください。
 3. 予習の一例として、初回目の講義では、「経営管理の理論体系を考え、授業中に各自3分ほど発言できる」というような質問に答えられるように、予習準備をしてください。復習の一例として、「今回・前回の講義の内容やキーワードについてしっかり理解して、場合によって自己調べ・勉強もしましょう。どうしても分からない場合、メールなどで担当先生へ連絡をしてください」。
 4. 先生とメール等とのやり取りする際、正しいマナーを十分意識し、「李先生」の宛先呼称・敬語表現・最後まで返信など、礼儀正しくの言動を取ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

1. 批判的な思考能力を身につけ、論理的に推論・演繹・帰納するアカデミック素養を養成できる。
2. 企業や組織の経営管理の仕組みを自ら主体的な立場から理解して、身につけた知識・能力等を生かす。
3. 組織メンバーと外部関係者とも協力的に働きかけ、論理的かつ実証的に組織の経営管理の企画と実施行動に参画能力を持つことができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

全員参加型授業である。

実務経験の有無及び活用

なし。

備考

全員、事前に資料と心構えを準備したうえ、授業に臨んでください。